

環境に係る情報協議会 国営緊急農地再編整備事業 阿寒地区

1. 事業の目的(案)

◆事業の目的

本地区は、排水不良を呈し、小排水路で区切られた不整形な農地が多く、加えて離農跡地の取得により経営耕地が分散していることから、効率的な農作業が出来ない状況となっている。

このため、本事業により区画整理を実施し、農地の大区画化及び排水改良等と併せて農地集積を行い、生産性の向上と農作業の効率化を進め、耕作放棄地の発生防止と農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化に資することを目的とするものである。

◆受益面積 2, 800ha

◆主要工事計画 区画整理 2, 800ha

2. 地域の環境に対する考え方

(「釧路市田園環境整備マスタープラン」より)

◆農村環境の現状と課題

【 現 状 】

釧路市の自然環境を代表する釧路湿原は、広大な水平的景観を有し、希少な野生動物の生息地であることから釧路湿原国立公園に指定されているほか、主要部はラムサール条約に登録されており、国内はもとより国際的に重要な自然環境として評価されている。

【 課 題 】

地域の良好な自然環境を将来にわたって保全していくため、土地利用のあり方も含めた総合的な取り組みを進めていく必要があるほか、希少な野生生物が生息していることから、地域における生物の多様性を確保していく必要がある。

◆環境保全の基本的考え方

- ・人と自然とのふれあいを促進し、自然との共生の実現を目指す。
- ・農村地域における自然環境の保全と生物の多様性の確保。
- ・農地の生産性を確保するための整備改良は、自然環境に配慮する。
- ・自然と調和のとれた潤いと安らぎのある景観の保全。

3. 環境配慮のための環境調査

◆基本方針

- ・地区内での各種既往調査等の活用を基本として、環境配慮対策へ反映するための現地調査を実施する。
- ・工事実施中における水質への影響の有無を確認するため、工事実施前のデータ収集を目的に、地区内農地の排水が流出するほ場内排水路及び排水本川である阿寒川において水質調査を実施する。

◆環境調査内容

- 調査項目 ①魚類 ②底生動物 ③水質（ほ場内排水路、排水本川）
- 調査方法 ①魚 類 : 採捕調査
- ②底生動物 : 定性採集法
- ③水 質 : SS、濁度